

市町村名		うるま市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部課名	企画部プロジェクト推進2課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額		1,440,719		1,487,485		
			1,510,213		1,477,533		
			69,494	0	▲ 9,952	0	0
			0	771,955		320,678	
			1,510,213	771,955	1,477,533	320,678	0
	うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		740,049	770,164	1,156,852	295,718	
			592,039	616,131	919,086	214,597	
			771,995		320,678		
			49.0%	99.8%	78.3%	92.2%	#DIV/0!
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・R2当初事業計画(公有財産購入、歴史文化施設備品購入、変電所等移転補償等)を実施するにあたり、用地取得単価の入替や入札残及び変更契約見込額、補償補填及び賠償金の出来高見込額等により当初予算から不用額が生じた。 ・R2当初事業計画の物件移転補償について、道路管理者(沖縄県)が実施している電線共同溝工事において県と沖縄電力の調整に時間を要し工事着手が遅れたため、現年度完了となりR3に繰越した。 ・R1事業について、歴史文化施設の建築基礎工事に不測の日数を要したこと及び公共補償金精度監理業務での機器の納品が3月になったことからR2へ繰越した。 						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化施設展示制作業務の実施 ・物件移転補償(公共補償)の実施 	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得の実施 ・AR・VR等映像コンテンツ制作の実施(R2dのみ) 	目標	(実施)	()	(実施)	()		
	実績	実施		実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は計画どおり展示制作、物件移転、用地取得、AR・VR等映像コンテンツ制作を実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化施設展示制作業務の完了 ・用地取得の完了 ・物件移転補償(公共補償)の一部完了 ・AR・VR等映像コンテンツ制作基本計画の策定 	目標	()	(完了)	(完了)	()	()
		実績		完了	完了		
	【参考指標】 ・年間入場者数25万人	目標	()	()	()	()	(25万人)
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は計画どおり展示制作、物件移転、用地取得、AR・VR等映像コンテンツ制作を完了した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な指定管理者による管理を想定した入口広場整備工事を実施する。 ・R3.10にオープンしたあまわりパーク(歴史文化施設、観光ターミナル)について、目標値達成の為にコロナ禍終息後に向けた誘客についての取組が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の視点や意見を参考にして整備工事への反映を検討する。 ・誘客事業を実施する場合には、来場者増加に繋がるニーズ等を把握する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・入口広場整備工事については民間事業者の意向等を可能な限り反映させて実施する。 ・更なる事業整備効果を発現させる為、東京等首都圏における肝高の阿麻和利公演や、勝連城跡を活用したMICE関連イベント(ユニークベニュー等)等来場者増加に繋がる誘客事業を官民連携を含めて実施する。 ・R4年度に取得する用地(物件移転補償含む)について、被補償者への事前説明を早期に着手し契約締結後は速やかに物件移転(除却)に向けて円滑な用地取得を実施する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,417,103</td> <td>1,417,103</td> <td>1,133,682</td> <td>283,421</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,417,103	1,417,103	1,133,682	283,421	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,417,103	1,417,103	1,133,682	283,421	0										
うるま市 1,417,103千円	委託費 254,704千円	(株)丹青社	237,824千円	歴史文化施設展示制作業務										
		沖縄セルラー電話(株)	5,440千円	Wi-Fi整備委託業務										
		(株)NTTドコモ 九州支社	8,954千円	AR・VR等映像コンテンツ制作										
		(一財)公共用地補償機構 沖縄事務所	2,486千円	公共補償精度監理業務										
	公有財産購入費 44,074千円	勝連南風原地内 (契約件数:32件)		44,074千円	用地取得費									
		備品購入費 39,104千円	(有)昭和事務機社	18,084千円	歴史文化施設備品整備業務 (その1)									
	(有)昭和事務機社		15,521千円	歴史文化施設備品整備業務 (その2)										
	monobox(株)		499千円	歴史文化施設備品整備業務 (観光案内所看板)										
	補償、補填及び賠償金 1,084,220千円	沖縄電力(株) (契約件数:7件)		1,084,220千円	物件移転補償契約									
	資金の流	評価	点検項目		評価に関する説明									
用途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先については、内容に即した競争入札や随意契約により適切に選定している。 ○補償費に関する算定精度の向上により不用が発生したものの、予算規模は適正であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												